

平成25年度 次世代育成支援事業報告書

倉敷市老人クラブ連合会 倉敷地区老人クラブ連合会万寿学区(東中学校区)

① 地 域 の 概 況	<p>倉敷市立万寿小学校の学区は、倉敷駅の北口から西北に位置し「アリオ」や「三井アウトレット」などの商業地域と現在も新たな住宅が建設されている静かな住宅地域である。</p> <p>万寿小の児童数は年々増加して、本年度は950人位になり、倉敷市では有数の大規模校になっている。</p> <p>万寿学区老人クラブ連合会は14の単位クラブに881人のクラブ会員が所属しており、万寿小学校を卒業生した高齢者も多く、学校を大事にする心と愛する心が強い地域である。</p>
② 活 動 状 況	<p>「世代間交流」を目指し、次の行事を行った。</p> <p>1. 輪投げ大会</p> <p>①日時 平成25年9月21日(土) ②会場 倉敷北児童センター ③老人会員 14人 ④子ども 65人</p> <p>子どもを低学年・中学年・高学年が均等になるように6つの組に分け、老人もそれぞれの組に分かれて入り6チームの編成をした。そして、一人5個の輪を順番に投げチームで得点を競った。</p> <p>チーム無意識が次第に高まり、拍手・声援が飛び交い大変盛り上がった。</p> <p>2. ペタンク大会</p> <p>①日時 平成25年11月6日(土) ②会場 倉敷北児童センター ③老人会員 18人 ④子ども 68人</p> <p>子どもをバランスよく16チームに編成し、8コートに2チームずつ入って対戦させた。老人クラブ会員は1コートに2～3人付き、ルールの説明・審判・記録等を担当した。</p> <p>子どもたちがペタンクの面白さをだんだんと感じ真剣にゲームを楽しんだ。</p> <p>3. 餅つき大会</p> <p>①日時 平成25年12月6日(金) ②会場 倉敷市立万寿幼稚園 ③老人会員 22人 ④子ども 64人</p> <p>園庭に2つの石臼をセットし、椅子を半円形に並べて園児を座らせ安全に配慮した。老人クラブ会員はつき手・きなどり・もみ手・米を蒸す係りに分かれて仕事を担当した。</p> <p>2つの臼であわせて13臼の餅をつき、餡餅やきな粉餅を味合わせた。</p> <p>また、子ども全員に順番に杵を持たせ、数回ずつ餅つきを体験させた。</p>

<p>② 活 動 状 況</p>	<p>4.とんど大会</p> <p>①日時 平成26年1月11日(土)</p> <p>②会場 倉敷市立万寿小学校 運動場</p> <p>③老人会員 20人</p> <p>④子ども 約100人(一般参加の大人約200人)</p> <p>老人会員で「とんどの芯」に薪を組んだりぜんざいの準備をしたりして、定刻の10時に「点火の儀式」を行った。三々五々と家族と一緒に来る子どもが多く、全員にぜんざいを振舞った。</p> <p>老人会員でお飾りの針金を取り除いたり、火が危険にならないように管理したり、子どもの持ってきた書初めを燃やす手伝いなどした。</p> <p>5.昔の遊び大会</p> <p>①日時 平成26年1月23日(木)</p> <p>②会場 倉敷市立万寿小学校 運動場・教室</p> <p>③老人会員 59人</p> <p>④子ども 万寿小1年生 178人</p> <p>昔の遊び9種目(紙ひこうき、けん玉、こま回し、めんこ、ビー玉、あやとりお手玉、おはじき、はごいた)の遊ぶスペースをセッし、老人会員が数人ずつ指導者として付いた。子どもたちは数人ずつのグループで遊び場を巡回しそれぞれの遊び方を学び楽しんだ。</p>
<p>③ 活 動 の 効 果</p>	<p>老人会員が、いきいきと子供に接し、輪投げなどではチーム内の老人と子どもが握手をしたり、ハイタッチをして互いの健闘をたたえたり喜び合う姿が数多くみられた。「輪投げがこんなに楽しいとは知らなかった。」という声も聞かれ、老人会員の若返り・活性化にも役立ったと思う。</p> <p>顔見知りになった子どもが道であった時大きな声で挨拶をしてくれたとか、子どもたちから礼状をもらって嬉しかったなどの具体的な生の声も聞かれ、交流の成果があったものと考える。</p> <p>高齢者と同居している、いわゆる三世帯家族で生活している子どもが少なくなっている万寿地区にとって、子どもが高齢者と直接話し合ったり触れ合ったりしたことは意義深く、効果があったと考える。</p>
<p>④ 課 題 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常、実施している老人クラブ活動の中で、今回、新たな事業として企画したものであり、実施に当たっては、多大な時間と労力が必要であったが、実のある事業として、終了することができたと思っている。 ただ、会員等に大きな負担であったとの声が聞こえた。 ・ この様な事業実施には、地域の各種団体との連携が必要不可欠である。 ・ 上記事業を実施したが、これらも含め、新たな事業についても、検討する必要がある。
<p>⑤ 今 後</p>	<p>クラブ会員に「地域の子どもは地域で育てる」という意識が強く芽生えていることを大切に、今後も、継続事業として、実施したいと考えている。</p> <p>また、この様な事業実施に当たっては、地域各種団体と連携を図りながら、老人クラブ活動を推進し、地域の活性化にも繋げていきたいと考えている。</p>